TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★☆☆☆ みじかい　254語

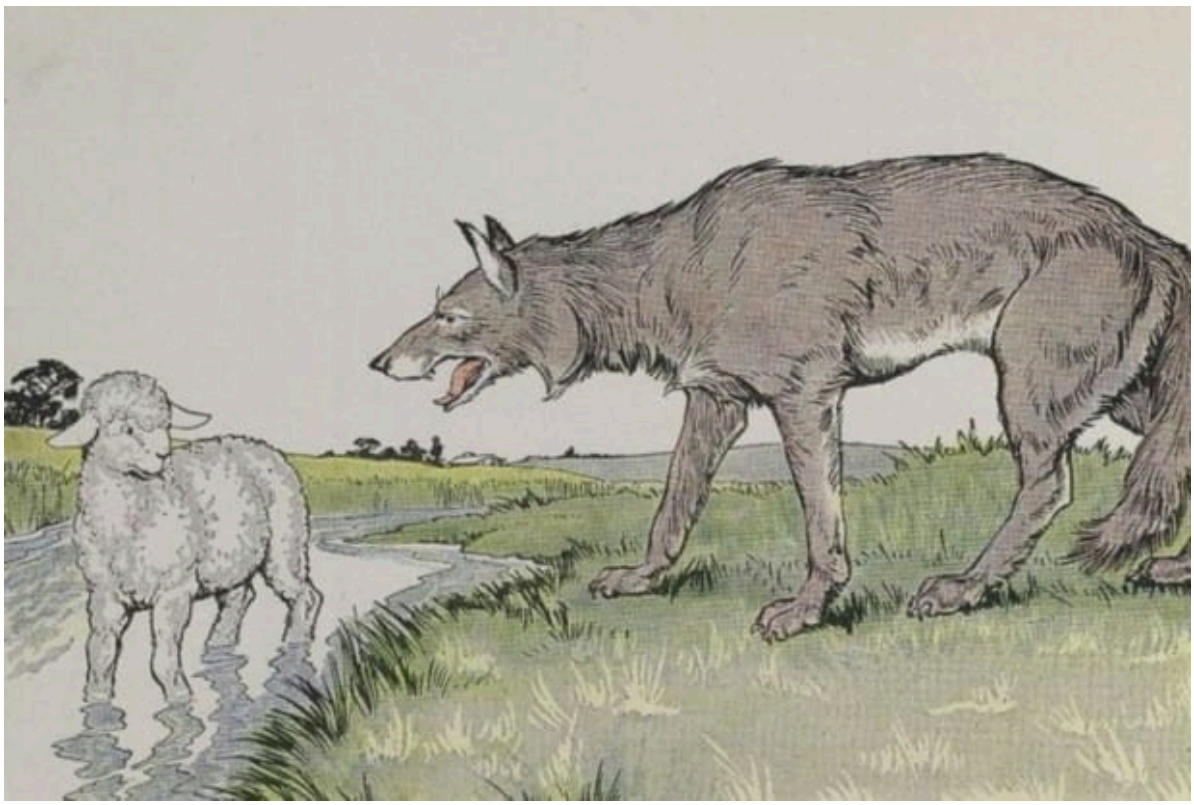
The Wolf and the Lamb

オオカミと子ヒツジ

Aesop（1919年の本）　原文そのまま　朗読：Jill Engle

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　小川で水をのむ子ヒツジに、オオカミがつぎつぎといいがかりをつけます。子ヒツジは正しく答えますが……。



A stray Lamb stood drinking early one morning on the bank of a woodland stream. That very same morning a hungry Wolf came by farther up the stream, hunting for something to eat. He soon got his eyes on the Lamb. As a rule Mr. Wolf snapped up such delicious morsels without making any bones about it, but this Lamb looked so very helpless and innocent that the Wolf felt he ought to have some kind of an excuse for taking its life.

"How dare you paddle around in my stream and stir up all the mud!" he shouted fiercely. "You deserve to be punished severely for your rashness!"

"But, your highness," replied the trembling Lamb, "do not be angry! I cannot possibly muddy the water you are drinking up there. Remember, you are upstream and I am downstream."

"You do muddy it!" retorted the Wolf savagely. "And besides, I have heard that you told lies about me last year!"

"How could I have done so?" pleaded the Lamb. "I wasn't born until this year."

"If it wasn't you, it was your brother!"

"I have no brothers."

"Well, then," snarled the Wolf, "It was someone in your family anyway. But no matter who it was, I do not intend to be talked out of my breakfast."

And without more words the Wolf seized the poor Lamb and carried her off to the forest.

The tyrant can always find an excuse for his tyranny.

> **The unjust will not listen to the reasoning of the innocent.**

ある朝早く、まいごになった子ヒツジが、森の小川の岸で水をのんでいました。ちょうど同じ朝、おなかをすかせたオオカミが、食べものをさがして、小川の上のほうにやってきました。オオカミはすぐに、子ヒツジに目をつけました。いつものオオカミさんなら、こんなおいしそうなえものは、えんりょなくぱくりと食べてしまうところです。でも、この子ヒツジがあまりにかよわく、むじゃきに見えたので、食べるには何かいいわけがいるような気がしました。

「よくもおれの小川でぱちゃぱちゃやって、どろだらけにしてくれたな！」とオオカミはこわい声でどなりました。「そんなむちゃをしたおまえは、きびしいばつを受けるべきだ！」

「でも、王さま」とふるえながら子ヒツジは答えました。「おこらないでください！わたしが、あなたがそこでのんでいる水をにごらせることなんて、できません。あなたは川上にいて、わたしは川下にいるのですから。」

「いや、にごらせているぞ！」とオオカミはらんぼうに言いかえしました。「それに、おまえが去年、おれの悪口を言っていたと聞いたぞ！」

「それに、おまえは去年、おれについてうそを言いふらしていたと聞いたぞ！」「わたしは、今年生まれたばかりです。」

「おまえでなければ、おまえの兄さんだ！」

「わたしに兄さんはいません。」

「それなら」とオオカミはうなりました。「とにかく、おまえの家族のだれかだ。だが、だれだろうと、おれは朝ごはんをあきらめるつもりはないね。」

そしてそれいじょう何も言わずに、オオカミはかわいそうな子ヒツジをつかまえて、森へつれていってしまいました。

らんぼうな者は、いつでもらんぼうをするためのいいわけを見つけるものです。

> **わるい者は、むじつの者のすじの通った話を聞こうとしません。**

たんご と クイズ　オオカミと子ヒツジ

Lamb 子ヒツジ	**morning** 朝	**stream** 小川
Wolf オオカミ	**mud** どろ	**brother** 男のきょうだい
breakfast 朝ごはん		

Q1 **オオカミがさいしょにつけたいいがかりは？**

① 草を食べた　② 水をどろだらけにした　③ 大声で歌った

Q2 **子ヒツジが「去年のことはできない」と言ったわけは？**

① 今年生まれたばかりだから　② 遠くにすんでいたから　③ ねむっていたから

こたえ

Q1　②　おれの小川をどろだらけにしたな、とどなりました。でも子ヒツジは川下にいたのです。

Q2　①　子ヒツジは今年生まれたばかりなので、去年オオカミの悪口を言えるはずがありません。オオカミのいいがかりです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Jill Engle（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。